

令和7年度 立川市立第十小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎すこやかな子 ○思いやりのある子 ○考える子
----------------	-------------------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
◎他者の考えを踏まえながら、自らの考えを深め、判断し、表現できる力（問題解決力） ○相手の気持ちや立場を考え、行動できる力（人間関係形成力） ○自分の体や心を大切にし、すんで運動する力（実践力）	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で「自分の考えを伝え合う」場面や課題を意図的に設定する。 ・自分の言葉でまとめ、考えを発表する経験を重ねる。 ・習得・活用・探究という学びの過程を重視する。 ・自らの学習状況を振り返り、今後の学習に生かせるようにする。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組 (学習活動など)
国語	○語彙を豊かにし、既習の文字を様々な生活場面で進んで使う力 ○目的に応じて、自分が伝えたいことを適切な言葉を用いて相手に伝える力 ○話の内容を正しく聞き取り、対話を通して、自分の考えを広めたり深めたりする力 ○学習したことを活用する力	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し漢字指導を行い、定着を図りつつ、発達段階に応じた習熟プリントや自主学習ノートを使って、自主的に学習できるようにする。 ・学習した言語事項を、作文などの文の中で活用できるようにする。 ・自分の考えを書き、伝え合う活動を設定し、自分の考えと比べながら話し合いに参加できるようにする。 ・児童が感じた疑問や感想を用いて、導入・課題づくり・展開・振り返りをさせ、意欲的に学習に取り組めるようにする。
社会	○社会的事象に関心をもち、主体的に課題解決に取り組む力 ○社会的事象に関する知識を習得し、活用する力 ○多角的に考察し、自分の考えを表現する力	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から情報を正確に読み取り活用できるよう、授業の中で時間的・空間的な視点をもって伝える活動を行うようにする。 ・ICT 機器を活用し、情報を取捨選択し、友達との意見交換をするなど、多様な考え方方に触れる機会を設定する。 ・資料から読み取った内容と既習事項を結び付けて考えられるようにする。 ・立川市民科との関連を図り、地域調べなどの地域を生かした学習を通して、日常生活と関連付けられるようにする。 ・体験活動を取り入れ、より理解や興味を深められるようにする。
算数	○学習に主体的・意欲的に取り組み、算数のよさや有用性を感じ取る力 ○自分の考えを数式、図、言葉で表現し、相手に分かりやすく伝える力 ○考えを交流し、協働しながらよい解決を目指す力	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自ら課題をもち、その課題を解決する学習方法を定着させるために繰り返し取り組み、振り返りと結び付けて学習を深められるようにする。 ・数、式、図、表、グラフ等を活用して、視覚的に理解できるようにし、根拠を基に筋道を立てて考えられるようにする。また、具体物や ICT 機器を活用し、問題の場面を身近な事象として捉え、日常生活に生かせるようにする。 ・自分の考えを友達に説明したり、友達の説明を聞いたりするなど、表現し、対話を通して伝え合う時間を確保し、児童同士の交流の場を増やす。
理科	○实物や映像・画像から発見する力 ○「問い合わせ・予想・計画・実験や観察・結果」から考察する力 ○実験などの体験を通して、様々な事象・現象に興味・関心をもつ力	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を用いて映像や画像を提示し、事物・現象に対して、原因との因果関係を示し、理解につなげる。 ・実験で調べた結果を表やグラフに表し、予想と照らして、結果や分かったことを話し合ったり、一定のきまりを見付けたりできるようにする。 ・具体物や動画・写真を精選し、児童の関心が高まるようにする。 ・観察・実験を通して具体物、本物に触れ、体験することで、興味・関心をもてるようにする。 ・実体験が難しい学習に関しては、動画視聴をし、より身近に感じができるようにする。
生活	○実体験や活動を通して、社会及び自然の特徴やよさ気付き、生活上必要な習慣や技能を身に付ける力 ○身近な人々、社会及び自然を自分との関りでとらえ、自分自身の生活について考え、表現する力 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとする力	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や専門家の方などと直接コミュニケーションを図ることで、学校生活はたくさんの人々が関わっていることに気付けるようにする。 ・体験して感じたこと、気付いたことなどを交流し合う場を多く設定する。 ・遊びの道具やおもちゃ等を試行錯誤して作る活動を設定し、自ら気付く力を高める。 ・体験活動を多く取り入れ、体験と結び付いた表現活動を充実させることで、意欲的に話し合い活動に参加できるようにする。

音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○試しながら工夫し表現に生かす力 ○交流を通して高め合い、音楽的な表現を認め合う力 ○自己評価を通して、新たな課題を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法について考え、何回も試しながら工夫し、よりよい表現へつなげていける場を設定する。 ・互いに聴き合ったり一緒に確かめ合ったりしながら、高め合い、認め合い、表現等に自信をもたせるようにしていく。 ・振り返りの時間を設け、活動したことや自分が工夫したことなど、めあてに沿って振り返り、次の時間につなげられるようにする。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ○材料や用具について考える力 ○自分のイメージを表現する力 ○自己評価を通して、新たな課題を見いだす力 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具と関わる時間を十分に確保し、形や色などの特徴に気付いたり、造形的活動の経験を積んだりできるようにする。 ・形や色、言葉などを視覚的に表し、自分のイメージや考えを確かめたり捉え直したりしながら活動を進められるようにする。 ・ワークシートや振り返りシートを活用し、達成感を味わったり、自分の課題を見つめて改善したりすることができるようする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○実践を通して、自分の生活に活かせる知識や技能を高める力 ○対話を通して、考えを深める力 ○自分で計画し、振り返る力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや動画等を活用して、道具や用語、技能のポイントなどについて知識の定着を図る。 ・実践を通して、技能を身に付け、自分の生活や家庭でも実践しける見通しをもてるようする。 ・具体的な実践を文章や写真、動画で表し、伝え合う場面を設定することで考えを深められるようする。 ・計画・準備時間を設け、仕上がりの見通しをもたせた上で実践活動に取り組めるようする。 ・作品、料理についての感想を交流し、振り返る時間を設ける。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に運動に親しむ力 ○自己の課題に合った方法を選択する力 ○健康と安全について考え、実践する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストで課題になっている項目（立ち幅跳び・ソフトボール投げなど）を向上させるために、体育の授業のみではなく、特別活動での委員会の時間を使って「十輪ピック（十小体力向上のための取組）」を学期ごとに行い、運動に取り組むことができるようする。 ・身近な生活を振り返り、健康・安全についての学習課題を発見し、自分の生活に生かせるようする。 ・技能のポイントが分かる資料や手本提示をし、課題が明確になるように振り返りをし、自分に合った課題を見付け運動できるようする。 ・スマールステップを使った学習活動を行い、技能向上を図れるようにし、個々の特性に合った場や用具を適切に選べるようにする。
外国語活動・外国語	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語に親しもうとする力 ○外国語で思いや考えを伝え合おうとする力 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の表現を繰り返し使えるような場面設定を行う。 ・外国語で表現するための語彙を増やしていく。ALTに積極的に尋ねさせたり、既習の表現を積極的に活用したりできるようする。 ・単元の終末を工夫し、児童にとって必然性・達成感のある内容にする。 ・反応例を中心に、指導者がクラスルーム英語リッシュを積極的に用いることで、児童も同様の表現を自主的に使えるようする。 ・アルファベットや、十分に慣れ親しんだ言葉を書くことについて、無理なく取り組めるようする。 ・毎時間チャンツや歌、ダンス、簡単なゲームなどを取り入れ、外国語の表現や語彙に慣れ親しみ、外国語を身近なものとして覚えられるようする。